

「Xarvio® FIELDMANAGER」との連携を開始しました！！

BASF デジタルファーマーミング社の栽培管理支援システム「Xarvio® FIELDMANAGER（ザルビオフィールドマネージャー）」(以下、ザルビオ)は、2017年に海外でサービスを開始し、2020年には世界15か国で400万ha以上の農地で活用されています。

ザルビオについて

日本では担い手への農地集積が進む一方、一筆一筆の圃場は小規模かつ分散している場合が少なくありません。大規模経営の発展には、多くの圃場をいかに効率的に管理するかが課題になっています。

ザルビオは、栽培品種、気象条件、人工衛星撮影画像等の情報をAI（人工知能）が解析し、圃場毎に推奨管理を提案します。

2021年4月1日、Z-GISとザルビオの連携が始まりました。ザルビオの主な機能は右図の通りです。

Z-GISとの連携・

ザルビオによる生育状況の把握



Z-GISの利用者は、ザルビオによる生育予測（水稲・大豆）、病害予測（水稲）、雑草発生予測（大豆）をZ-GISに取り込むことができます。ザルビオの解析データを参

ザルビオの主な機能

1. 生育予測

AIが圃場毎の生育ステージを自動予測・通知

2. 人工衛星画像自動解析（リモートセンシング）

圃場毎に画像を自動解析し生育状況を表示

3. 病害アラート（水稲）

AIが圃場毎の病害リスクを算出し防除を推奨

4. 雑草管理最適化（大豆）

AIが最適な雑草管理を推奨

5. 可変散布マップ

生育分析結果等をもとに可変散布マップを出力

考に栽培を行うことで、リスクを低減できます。また、ザルビオを通じて、人工衛星リモートセンシングで解析した生育状況地図（植生マップ）を定期的に入手できます。当年の追肥、翌年の基肥の散布量の検討ができ、生産安定化が期待できます。

サービスの詳細やご利用開始のお問合せは以下までご連絡ください。

お問い合わせ窓口

TEL : 0120-014-660

Mail : japan@xarvio.infowww.xarvio.com